

第1回地域連携推進会議議事録（施設見学・会議）

日 時 令和7年10月10日（金） 11:00～13:00

場 所 ルピナス神川ホーム短期棟

参加者 ルピナス神川ホーム施設長

行政代表者 神川町町民福祉課

福祉関係者 山鳩よりい施設長

地域関係者 地域代表者

家族代表者 家族代表

利用者代表 2名

施設職員 3名

司 会 新井施設長

記 録 中島事務係長

内 容

1 施設長挨拶

今回初めて地域連携推進会議をご案内し、ここに地域連携推進会議の趣旨をご理解いただき協力誠にありがとうございます。

資料確認を行う。

本日出席されている方以外に構成員として、民生委員、区長さんの参加を予定していましたが、業務の都合上欠席となっております。

別紙、設置要綱に沿って、会議・見学を同日に開催し進めていきます。

（1）メンバーの紹介、挨拶

参加者全員の自己紹介をしていただき、重ねて挨拶を行う。

2 施設概要説明

地域連携推進会議の指針を読み上げ説明する。

当施設の施設事業概要を配布資料に沿って柳原より説明を行う（資料2）

3 経営状況説明

施設長より配布資料に沿って説明を行う（資料3）

4 施設概要、経営状況についての質疑応答

福祉関係者「自分のところの施設も、いろいろな行事を行っていますが、ルピナス神川ホームも様々な行事を行っていますね。」

5 利用者の日常について

施設パンフレットを確認していただきながら柳原より説明を行う

- ・毎月の行事や買い物を実施していることを説明
- ・入浴は毎週火・金曜日に実施

- ・月曜から金曜日に日中活動を午前午後と別れて活動を実施しています。内容については身体をつかったさまざまな運動的な活動、レクゲームや音楽鑑賞、カラオケなどをやっています。
- ・土日については利用者もゆっくり休みたいとの意見が多くあり、日中活動は行わず希望者のみクラブ活動（手芸クラブ、カラオケクラブ）を行っています。
- ・施設のイベント、地域行事
施設概要でも説明したが、毎月の施設内行事や身障協など所属して交流会や地域行事に参加しています。次回の身障協交流会も予定されています。

6 意見交換

施設長「日常生活はどうですか？」

T利用者「特に意見はない。満足しています」

福祉関係者「どんな活動が楽しいですか？」

M利用者「先ほど外に出て、外の空気を感じた。外出は楽しみです。」

施設長「食事はどうですか？」

M利用者「このご飯はおいしいよね。うどんやカレーは大好きです」

M利用者「特にないけど、たまにはどこかに外出したい。コロナがあつて難しいとは思っている。時々買い物などで外出していますが、もっと外出してみたい」

施設長「何しているときに楽しいですか。」

T/M利用者「ユニット活動しているときに楽しい。また、食事前に口腔体操が始まったから結構忙しい。」

施設職員「口腔体操はホールのテレビ2台にユーチューブの口腔体操を映して15分程度、食事前に実施している」

福祉関係者「うちもやろうと思ったがなかなか職員の人数がいなくて、難しく実施できていない。」

施設職員「どんなメニューが一番好きか？」

M利用者「うどんなど麺類が好きです。」「おやつがもっと食べたいと言っている利用者がいる。」

施設長「ほかに何か言っておきたいことや希望などありますか。」

T/M両名意見は他にはないとのこと

福祉関係者「お風呂は火曜金曜だけですか？当施設では、毎日入浴を実施しています。利用者は週2回交代で入っている。」「時間も午前午後も1,2時間かかってしまうので、他の行事がなかなかできません。」「人間的余剰的余裕があれば、週3回くらいは入浴させてあげたい。」「関連施設（子供）では週3回入れるようにしていると聞いてます。」

施設職員「当施設では、毎日入浴を実施してしまうと入浴に人員がとられ日中活動に対応する職員が少なくなってしまうため、週2回の入浴日に全員が入浴できるようにしている。午前中男子で午後女子が入浴しています。」

施設長「ほかの施設の入浴状況は参考になります。ありがとうございます。」

行政関係者「皆さんはどちらの出身ですか」

T利用者「私は、熊谷市です」

M利用者「私は、本庄の牧西です。」

施設長「現在入所されている方で、一番遠い方は鎌倉市から入所されています。」

福祉関係者「面会日は決まっているか？」

施設職員「面会日は特に決まっておらず随時可能ですが、事前に連絡していただいています。オンライン面会等もあります。」

「場所は感染症のリスクから相談室等を利用しており、居室への立入りは断っている。」

家族代表「施設の活動で、クラブがあるようですが、うちの子の場合は昼夜逆転しているので昼間のクラブみたいなのに参加できればいいなと思います」

施設職員「車いすに乗って参加している利用者が、大勢いる中で、その利用者はどうしても寝てしまうことが多い。

家族代表「人がいないほうがさみしくて起きている。」「昼間いるけど、できることや興味のあることが減ってきているのは気になっています。できる人はいいけど、どういう風な時に、痛みや楽しみをかんじているのか、わかりづらいです。意思疎通が難しい場合、泣いていたりするのをみていると悲しく感じます。何かを訴えているのだと思いますのでそんな時には、利用してあげていただきたいです。」

「若いころは、ボール投げなど好きだったので、活動などでボール投げなどが出来たら楽しむんだろうなと感じますが、今の娘を見ている難しいかと感じています。家族と一緒にできればと思っているが、ほかの家族から止められています。」

施設長「我々職員が声掛けなど行くと、人によって表情が変わります。PTが拘縮予防などリハビリでかかわっており、車いすやベッド上にいても何かしらアプローチはかけている状況です。」

家族代表「笑顔は最近見てなかったが、職員が病院に迎えに来てくれた時に満面の笑顔だったのは感激しました。写真もしっかり撮っておいてあります。」

地域代表「特に意見等はないが、開所当時から園内販売などいろいろなことに携わっていたので、昔から長い間施設にはかかわっていますが、部屋の様子やお風呂場など見たことがなかったです。この利用者は元気な方がいるなど感じるくらいで、特に意見はありません。」

※ここで、利用者の食事時間になりますので、利用者はここで退席する。

福祉関係者「当施設でも、課題ですが、同性介助はどうですか？」

施設職員「男性利用者が多いため基本的には女性利用者には女性職員が対応に入れるようになっていますが、男性については女性がかかわっている。女性の場合は男性がかかわることはないようになっています。」

「看護師も今では女性 4 名男性 2 名いるのでそれぞれで対応しています。」

福祉関係者「当施設では利用者も職員も男性が増えてきた入浴介助の洗身は同性介助だが、移乗などは承諾を得た人だけ行っています。」

「同性介助じゃない場合は同意を取っているが、完全に同性介助をすることはむずかしい。」

施設職員「神川ホームでは女性が男性に入ることは多くなっている。」

「看護師も男性が増えてきたので気になりにくくなっている。嫌がる人ももちろんいる。」

福祉関係者「どうしても同性介助してくださいという方はそうにしているが、時間帯によつては男性 2 名になってしまうことがあるので了承を得ている。」

福祉関係者「職員は男性が多いです。」

施設職員「神川ホームは女性職員が多い。」

施設長「どこの施設でも外国人を採用しているところが増えてきたが当施設ではまだ在籍していない、現状は職員が新しい職員を呼んでくれるので体制を維持できている。」

福祉関係者「離職率はどうですか？」

施設長「離職率は高くないが、今の職員は、はっきりしているので合わない方はすぐに辞めてしまう。慣れてしまうと長く継続して働いてくれている。」

7 施設見学案内

ショート棟並びに入所棟を全員で、見学する。(約 30 分)

8 その他

(1) 虐待防止について説明する。

身障協は県社協等で実施している研修等に参加。埼玉県主催の虐待防止研修会に講師として参加もしている。

施設内研修として具体的な事例についてのグループワーク等を実施している

(2) BCP の取り組みについて説明する。

建物の立地条件から今年も土砂災害防災訓練の実施予定。その中で、BCP もその時に行う予定です。地域の方々にも参加をお願いするようになります。その時にはよろしく願います。

・感染症事業継続計画訓練も実施予定であることを説明する。

昨年の防災訓練(土砂災害)では、土のう袋やブルーシートを実際に設置して行った。非常食については、合計 100 名 3 日分を用意(入所者 50 名、職員 30 名、地域 20 名程度)災害時には地域の方も受入れ対応可能であることも説明する。

※ 施設の会議並びに見学をすべて終了として閉会となる。

以上